

さいたま市企業誘致活動方針(第Ⅱ期)

まもり、まねいて、そだてます

活動期間 平成20年度～平成22年度(3年間)

目標立地件数 3年間で30社の立地をめざします

中地重点エリア (1)本社・支社機能、研究開発機能エリア
 【都心】大宮駅周辺・さいたま新都心地区、浦和駅周辺地区
 【副都心】日新・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区、岩槻駅周辺地区
 (2)研究開発機能、精算機能エリア・北区・桜区・岩槻区の工業団地を中心とする適地

都心 本市の都市活動の基幹的な役割を果たします。

大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区

県内最大の商業・業務地大宮では、120万都市のおもて玄関にふさわしいまちづくりをめざします。

浦和駅周辺地区

文教都市にふさわしい、商業・業務・住宅・文化などの機能が調和した都市をめざします。

副都心 都市と連携し、都市活動を補完する役割を果たします。

日進・宮原地区

職・住・遊・学を兼ね備えた複合都市の形成を図ります。

武蔵浦和地区

交通利便性を活かして、商業・業務機能と住宅の均衡のとれたまちづくりをめざします。

美園地区

豊かな自然や交通利便性を活かして、スポーツ・交流・自然をテーマとしたまちづくりをめざします。

岩槻駅周辺地区

地域固有の歴史・文化を活かしつつ、自然と調和した市街地の形成をめざします。



企業誘致5つのビジョン

- ① 知の集積 ▶ 研究開発型企業、企業の研究機能の誘致
- ② 次世代成長産業の集積 ▶ ライフサイエンス、先端・精密技術、情報技術産業等の誘致
- ③ 業務機能の集積 ▶ 本社・支社・バックアップオフィス機能の誘致
- ④ 国際ビジネス拠点 ▶ 外資系企業やインターナショナルスクールの誘致
- ⑤ 高次都市機能の集積 ▶ 都心、副都心エリアへの大型投資、交通結節点への物流機能の誘致

